2回戦
10年春季リーグ
第5週・5月12日
2勝0敗

駒大3−2東農大

「やっと出た」主砲の本塁打で先制

開幕カード以来の本塁打を放つ山本

駒　大	200	000	000	1	3
東農大	010	000	100	0	2

【駒　大】	打	安	点
⑥　岡	4	0	0
④赤　木	2	0	0
PH 民　法	1	0	0
4 増　本	0	0	0
PH 柴　田	0	0	0
4 平　川	0	0	0
③笠　間	2	0	0
⑨山　本	5	2	2
DH 山　下	3	1	0
HD 中　谷	0	0	0
②上村新	3	0	0
⑦奥　野	4	0	0
⑤白崎浩	4	1	0
⑧嘉数駿	2	0	0
計	30	4	2

▽本塁打＝山本

	回	打	安	責
井　口	4	26	3	1
栗　林	02/3	3	0	0
板　木	01/3	3	0	0
友　滝	1	5	0	0
小　倉	02/3	4	2	1
○白崎勇	31/3	11	0	0

(下)「気持ちが出た」と山本。気迫のプレーが攻撃の芽を摘む

FINE PLAY！！！

初回、山本祐大(法4)が左越本塁打で2点を先制。だが、2回に先発・井口拓皓(経2)が、7回には小倉元平(営3)がリードを守れず同点に。

延長戦に突入し10回、白崎浩之(法2)が左前安打を放つと、2度の暴投で勝ち越す。最後は白崎勇気(営3)が締め連勝。

初回、笠間将裕(商4)が死球で出塁すると、4番・山本が快音を響かせ打球を左スタンドへ運び、2点を先制する。「やっと(長打が)出た」と念願の今季3本目の本塁打を決める。

だが2回、先発・井口が先頭打者に左中間二塁打を許すと、続く打者からも連打を浴び1失点。その後、3人の継投で無失点に抑えるが、7回に小倉が右翼線適時三塁打で同点とされる。

ダブルW白崎

安定した制球で東農大から連続白星を挙げる白崎勇

笠間の合図で生還する白崎浩

勝利を呼び込む！

援護したい打線も流れを変えられず、9回まで3安打6三振と貧打に終わる。ここでエースの存在が輝く。

9回裏、白崎勇が「僕が打たれたら試合終わっちゃうんで。抑えなきゃ」と、思い通りの好投で三者連続三振を奪い、延長戦へと持ち込む。

白崎勇がつないだ10回、白崎浩が左前安打で出塁すると、犠打・暴投で進塁し、2死三塁の好機を作る。するとまたも相手投手が暴投を出す。「(暴投は)逸らしたのが見えなくて、笠間さんのジェスチャー」で生還に成功し、勝ち越す。

その裏、あわや右前安打という打球を山本の好守で右飛に。「フライにしてくれてめちゃめちゃ嬉しかった」と、救われた右腕は安定した好投を見せる。最後は見逃し三振で締め、2部降格後初めて東農大から勝ち点を奪った。

次戦の日大戦からも勝ち点を奪えば、優勝の可能性は残る。「青学に負けてから6連勝することを目標にやってきた。あと2勝、引き締めていく」と、主将・笠間の目には連勝しか見えていない。

希望を抱き最終ゲームに挑む。

★コマスポメモ★

東農大1回戦では白崎勇と白崎浩の母と祖父が北海道から観戦に駆けつけた。

白崎勇の母・美由紀さんが試合を見る時は「いつも結果が良くなくて…」と、苦笑い。だが、東農大カードでは無四球完封と、守護神の役目を果たし、エースとしての成長を見せた息子に安堵の表情。「1シーズンに1回しか観に来れないけど、こういう(好成績の)試合を観れてよかった」とにこやかに語った。

写真＝堀江あゆみ、桝島知佳
文＝菊池美紀